活動方針

1. 交流の場の提供

病気になった方とその家族・遺族の交流の場をつくります。

2. 補償・救済制度等の手続き支援

病気になった原因を明らかにすることを通じ補償・救済制度等の適用を支援します。

3. 権利の確保と改善

患者と家族が置かれている実情を十分調査し、医療関係者や行政関係者、関連する企業へその声を伝え誠意ある対応を求め、当事者のおかれている経済的・社会的環境の改善をはかります。

全国22箇所に支部を開設しています。
詳細についてはフリーダイヤルまたは本部へお問い合わせください。

各地の支部所在地

北海道　奈良
東北　兵庫
新潟　岡山
長野　広島
山梨　山口
関東　山陰
神奈川　四国
横須賀　福岡
東海　南九州
北陸
関西
尼崎
泉南

会について

中皮腫をはじめ、アスベスト疾患の方、あるいはその疑いのある方などのご相談を幅広く受け付けています。私たちは、この病で心身共につらい生活を送る患者のために、患者を支える家族のために、患者の遺族の方々のために、そして被害の拡大を防ぐために、全ての被害者救済を求め歩み続けます。全国に22の支部を有して、地域に根ざした支援をしています

会員の種類

1）正会員　<年会費　6,000円>
アスベスト疾患　（中皮腫、肺ガン、石綿肺、良性石綿胸水、びまん性胸膜肥厚、胸膜プラークなど）の患者及び家族の方

2）賛助会員　<年会費　6,000円>
この会の目的に賛同する方

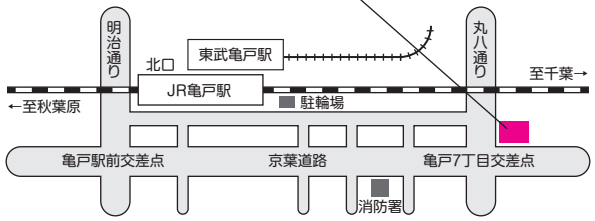
入会ご希望の方は事務局へご連絡ください。

中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会

〒136-0071
東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル5階
TEL:03-3637-5052　FAX:03-3683-9766
eメール: info@chuuhishu-family.net/w/
http: //www.chuuhishu-family.net/w/

本部・関東支部

JR亀戸駅・東武亀戸駅から徒歩7分



ひとりで悩まないで、ご相談ください。

中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会

フリーダイヤル 0120-117-554

私たちは、会員の交流を原点に、国や社会に病の恐怖と救済を訴えています。

2004年2月7日、会員相互の親睦と情報交換の場として約60人で設立されたこの会は、多方面で精力的な活動を続けてきました。2006年6月に日本を揺るがしたクボタショックは、兵庫・尼崎の3人の患者が声をあげたことにはじまりました。尼崎はもとより、全国のアスベスト被害の全容が明らかになるとともに、石綿健康被害救済法の成立をはじめ現在の被害者救済をめぐる環境整備の原点になりました。

国には、被害者補償や治療法開発の促進、国民への周知を訴え、一般の方々にはアスベスト疾患の恐怖を幅広く発信。また、会員同士の交流はもちろん、石綿健康被害救済法や労災補償の行政手続き、企業への訴訟活動の支援にも力を入れています。

アスベストによる健康被害は特定の環境に置かれた者だけの問題ではなく、日本そして世界に生きる全人類にとってのリスクです。

私たちはこれからも、互いに声をかけ合い、励まし合いつつ、未来のやすらかな日々のために、より多くの方々にアスベスト疾患の現実を発信していきます。

創立10周年の集い

会の活動紹介

各地支部の集い

意見交換や治療についての情報交換、現在の生活についてなど、幅広い交流のために、各支部で定期的に開催されています。

群馬県アスベスト被害ホットライン・相談会(交流会)

ご自宅訪問

会で活動する患者さんが、全国の患者さんのご自宅を訪問し、現在の状況を把握、さまざまなご相談を受け付けています。

患者さんやそのご家族と笑顔で歓談

世界との交流

2017年7月4日よりイギリス訪問団が、被害者の全国連携を学ぶマンチェスターでの国際交流会と5都市でのAMD(Action Mezoterioma Day=イギリスのアスベスト被害者運動の一つ)イベントに参加しました。

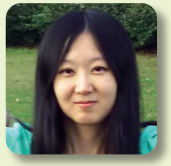
中皮腫サポートキャラバン隊

「中皮腫患者でも明るく前向きに生きる」という精神のもとで、有志の患者さんを中心に2017年に活動を開始。ピアサポート(同じような立場の仲間による支援)のため全国で講演会や交流会などを行っています。

同じ患者同士の情報交換が力に

厚生労働省にオプジーボ早期承認の要望書提出

会員の声



田中奏実(かなみ)さん
北海道(悪性胸膜中皮腫)
18歳で発症し、最初はショックを受けましたが、いまは会報誌の記事作成を行っています。雰囲気を好きになってもらえたら、交流しに来てほしいなと思っています。

岡田陽子さん
大阪府(びまん性胸膜肥厚)
父は石綿肺がん、母は石綿肺で苦しみました。私はびまん性胸膜肥厚で酸素吸入をする身体になりました。労働者も家族も区別せずに救済してほしいと思っています。

八木千年(ちとし)さん
鹿児島県(肺がん)
支部の集いなどに出席して「元気を出さないとだめ」と呼びかけています。発症後の私の経験を伝えたいので、遠慮せずもっと頼ってほしいと思っています。

川崎光子さん
福岡県(遺族)
弟は、びまん性胸膜肥厚で亡くなりました。患者さんたちが精力的に活動する姿は胸を打ちます。私も一緒になって、冷たい対応を続ける国と戦う決意です。

青山和弘さん
岐阜県(悪性腹膜中皮腫)
ネットの情報だけでは不十分で、この会が一番の情報源です。中皮腫は確かに怖い病気ですが、何十年も病と向き合う方の話を聞くことで力をもらえます。

菅野豊美さん
愛媛県(遺族)
悪性胸膜中皮腫で義父を亡くした際、アスベスト被害を隠そうとする勤務先に納得できませんでした。同じ被害を防ぐために、いろんな場所で呼びかけています。